

## USB オーディオ機器が正常に動作しない

このようなトラブルの原因は、パソコンの環境や設定による場合がほとんどですが、現象も様々で、対策も接続するパソコンや環境により異なります。現象ごとについていくつかの解決方法を紹介しますので、お試しくさいますようお願い申し上げます。

### トラブル内容一覧

- 1** パソコンに接続しても認識されない。  
またはすぐに認識されなくなる。・・・2 ページ
  - USB ケーブルを変更する。・・・2 ページ
  - パソコンに接続する USB ポートを変更する。・・・3 ページ
  - パソコンの電源オプション設定を変更する。(Windows)・・・4 ページ
  - 添付の AC アダプターを接続する。・・・5 ページ
  - パソコンと USB オーディオ間にセルフパワー  
タイプの USB-HUB を接続する。・・・5 ページ
- 2** 今まで使用できた USB オーディオ機器が  
使用できなくなった。(Windows)・・・6 ページ
  - “既定のデバイス” に設定されているか確認する。・・・6 ページ
  - 使用していないドライバーをアンインストールする。・・・6 ページ
  - OS 標準ドライバーを入れなおす。・・・7 ページ
- 3** 音楽を再生するとノイズが入る。  
途中でエラーメッセージが表示され、音楽が停止してしまう。・・・8 ページ
  - 使用していない USB 機器を取りはずす。・・・8 ページ
  - 音源データを変換して再生している場合は、  
音源データ通りに再生する。・・・9 ページ
  - 音楽再生時に起動するアプリケーションを極力少なくする。・・・10 ページ
  - パソコンを接続するコンセントを変更する。・・・10 ページ
- 4** 全ての項目をチェックしたが、正常に動作しない。・・・11 ページ

# 1 パソコンに接続しても認識されない。 またはすぐに認識されなくなる。

このような場合は、以下をご確認 / お試しください。

## ● USB ケーブルを変更する。

⇒市販のUSB ケーブルのなかには、USB 規格に準じていない（GND が接続されていない等）ケーブルや、品質の悪いケーブルがあり、そのようなケーブルを使用すると動作に影響を及ぼす可能性があります。特に長い（3.0m 以上）USB ケーブルは注意が必要です。まずは USB オーディオ製品に付属している USB ケーブルや、パソコン周辺機器メーカーの USB ケーブルを接続して正常に動作するかチェックしてください。

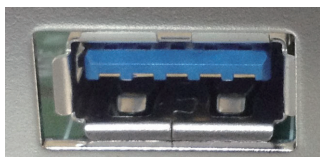


例) USB HI-SPEED 認証ロゴ。

USB の品質検査（転送信号の品質検査）にパスしたケーブルには、上記のロゴがパッケージなどに記載されています。弊社製品には、USB 品質検査にパスした USB ケーブルが添付されています。

## ●パソコンに接続する USB ポートを変更する。

⇒パソコンの機種や接続する USB ポートによっては、動作が不安定となる場合があります。最近のパソコン（特にノートパソコン）では、USB3.0 ポートのみが搭載されている機種も増えています。USB は下位互換なのでほぼ問題なく動作しますが、一部のパソコンでは USB3.0 ポートに接続した USB オーディオ機器が正常に動作しない事例もあります。こういった場合は、USB2.0 ポートに接続したり、セルフパワータイプ（AC アダプター付属）の USB2.0 対応 USB-HUB を経由して接続することにより改善する場合があります。（5 ページをご参照ください。）



USB3.0 ポート

※他の USB ポートと見分けるため、絶縁体に青色が推奨されています。（絶縁体の色が異なる場合があります。詳細はパソコンのマニュアルをご参照ください。）



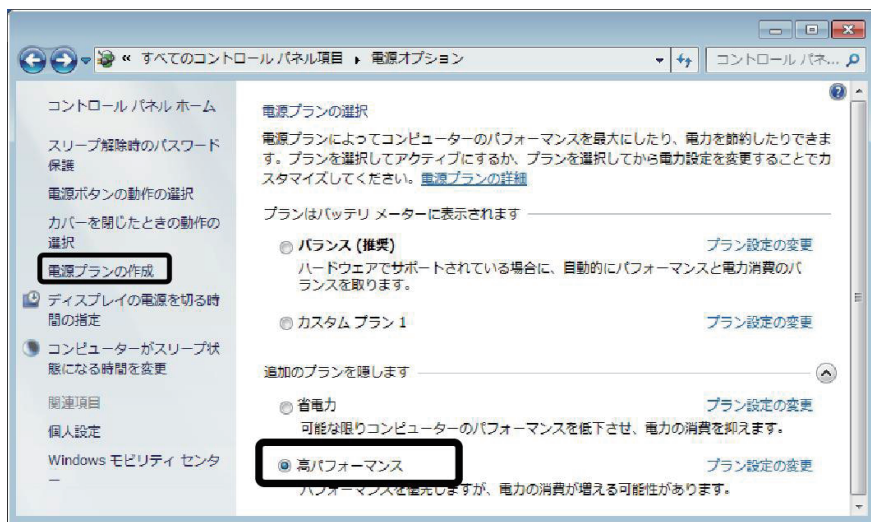
USB2.0 ポート

USB オーディオ機器は、USB2.0 ポートに接続した方がトラブルは少なくなります。

## ●パソコンの電源オプション設定を変更する。(Windows)

⇒工場出荷時のノートパソコンは“省エネ”で動作するよう設定されているものが殆どです。この設定が原因で、接続時にUSB オーディオ機器として認識されない場合や、音楽データを再生すると認識されなくなる場合があります。

このようなときは、【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【電源オプション】から“高パフォーマンス”に設定することで、USB オーディオ機器へ安定したデータ転送と電源供給ができるようになります場合があります。パソコンメーカー独自の節電設定（コントロールパネル内）もあります。



“省電力”から“高パフォーマンス”に変更する。高パフォーマンスの選択がない場合は、“電源プランの作成”から作成します。設定手順は下記 URL をご参照ください。

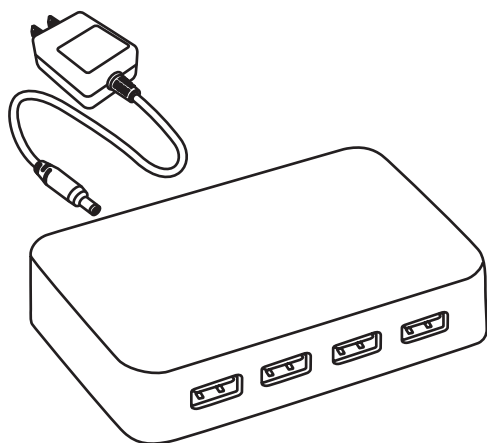
[http://www.ratocaudiolab.com/img/dl/stepup\\_pdf/changed\\_PP.pdf](http://www.ratocaudiolab.com/img/dl/stepup_pdf/changed_PP.pdf)

## ●添付の AC アダプターを接続する。

⇒RAL-24192HA1 はUSBバスパワーで動作しますが、単体のD/Aコンバーターとしても使用できるため、ACアダプターを添付しています。パソコンのUSBバスパワーが安定して電源を供給できていないときは、ACアダプターを接続することにより症状が改善される場合があります。

## ●パソコンとUSB オーディオ間にセルフパワータイプのUSB-HUBを接続する。

⇒REX-A2496HA1 やREX-UHPB1 など、USBバスパワーのみで動作する製品に電源が安定して供給できない場合、セルフパワータイプ（ACアダプター付属）のUSB-HUBを介して接続することで改善される場合があります。また、USB 3.0ポートのみのパソコンにUSBオーディオ機器を接続したとき、うまく動作しない場合もUSB2.0対応のHUBを接続することで改善される場合があります。



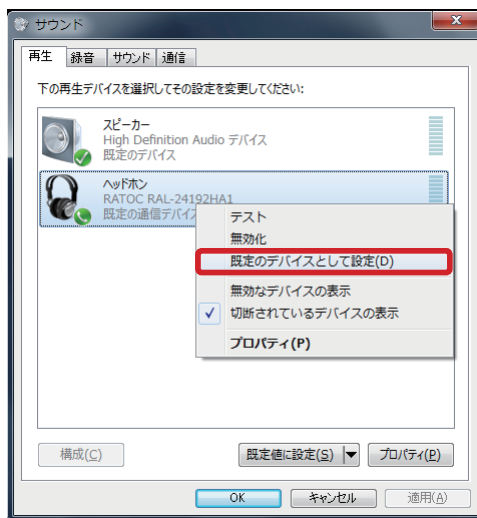
## 2

# 今まで使用できた USB オーディオ機器が使用できなくなった。(Windows)

このような場合は、以下をご確認 / お試しください。

## ● “既定のデバイス” に設定されているか確認する。

⇒ OS のアップデート等の影響により、“既定のデバイス” の設定が接続した USB オーディオ機器からパソコン内蔵のスピーカーに変更されている場合があります。こういった場合は【スタート】⇒【コントロールパネル】⇒【ハードウェアとサウンド】⇒【サウンド】の再生タブに表示された弊社製品にカーソルを合わせて右クリックし“既定のデバイスとして設定”を選択してください。



## ● 使用していないドライバーをアンインストールする。

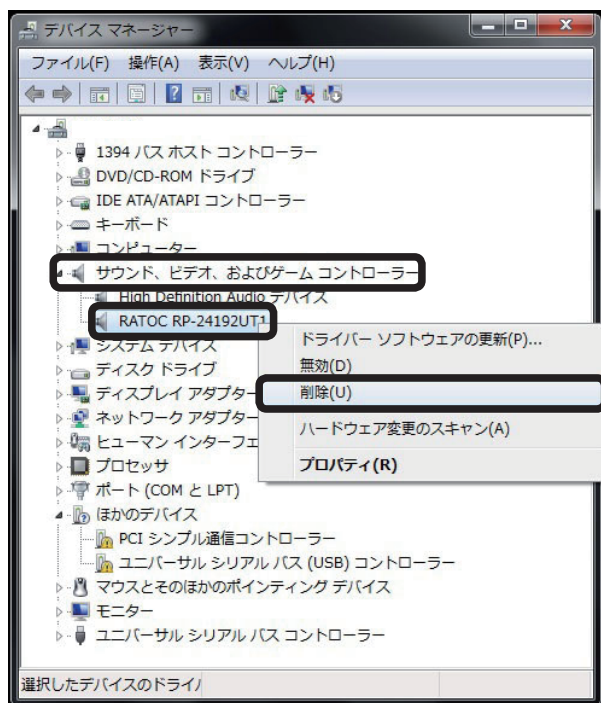
⇒ 他社製 USB オーディオ機器のオーディオドライバーをアンインストールすることで、正常に動作する場合があります。

弊社該当製品：RAL-24192UT1/RAL-DSDHA1/RAL-DSDHA2  
REX-K24192DSDU/REX-KEBO2iP

## ● OS 標準ドライバーを再インストールする。

⇒【スタート】⇒【コンピューター】⇒【システムのプロパティ】⇒“デバイスマネージャー”の“サウンド、ビデオ、およびコントローラー”内に表示されている USB オーディオ機器にカーソルを合わせて右クリックし、“削除”をクリック。(下記をご参照ください。)

一旦パソコンから USB オーディオ機器を取り外した後、再度 USB オーディオ機器を接続し、ドライバーをインストールします。



弊社該当製品：

RAL-24192DM1/RAL-24192HA1/RP-24192UT1/  
REX-A2496HA1/REX-A1648HA1/REX-UHPB1/  
REX-Link2EX/REX-WHP2

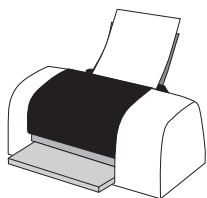
### 3 音楽を再生するとノイズが入る。

#### 途中でエラーメッセージが表示され、音楽が停止してしまう。

このような現象は、**1** で記載した対策で改善される場合がありますが、改善されない場合は、以下をご確認 / お試しください。

#### ●使用していない USB 機器を取りはずす。

⇒たとえ使用していなくても、パソコンと USB 機器間で常に通信がおこなわれる USB デバイスがあり、使用中の USB オーディオ機器に何らかの影響をあたえる場合があります。パソコンを操作する上で最低限（マウス / キーボード）の USB 接続機器以外を一旦取り外して症状が改善するかチェックしてください。



プリンター



外付け HDD



ヘッドセット など

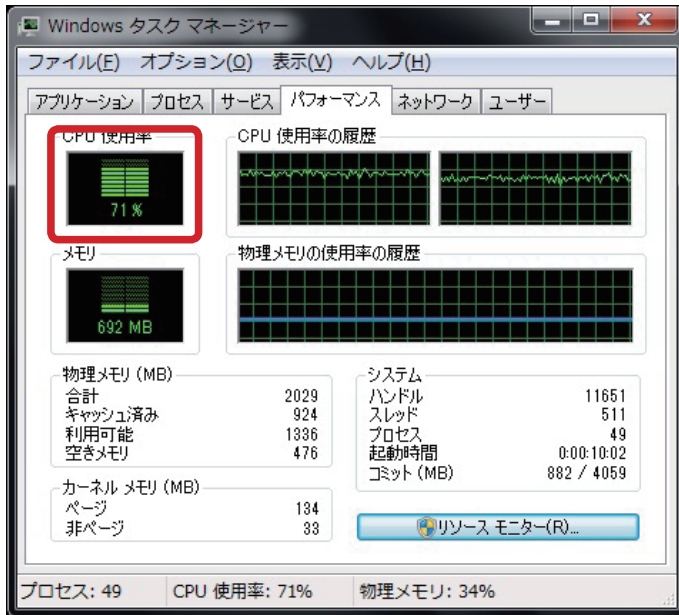


## ●音源データを変換して再生している場合は、音源データ通りに再生する。

⇒ PCM データを DSD データに、16bit/44.1kHz データを 24bit/192kHz などに変換して再生すると、音源データ通りに再生するときと比べてパソコンに大きな負荷をかける場合があります。音源を変換せず、データ通りに再生して症状が改善するかチェックしてください。

どの程度の負荷が CPU にかかっているかを目視確認する場合は、タスクマネージャーのパフォーマンスタブで確認することができます。

タスクマネージャーはデスクトップ画面 最下段のタスクバーにカーソルを合わせて右クリック⇒“タスクマネージャー”の“パフォーマンス”タブで表示。



【参考】CPU : Intel Core2 を搭載するパソコン (Windows 7)。

上記は PCM ⇒ DSD データへリアルタイム変換した場合。

CPU 使用率が 70%を超えています。

【使用する再生ソフトやフィルター設定等により、負荷は大きく異なります。】

## ●音楽再生時に起動するアプリケーションを極力少なくする。

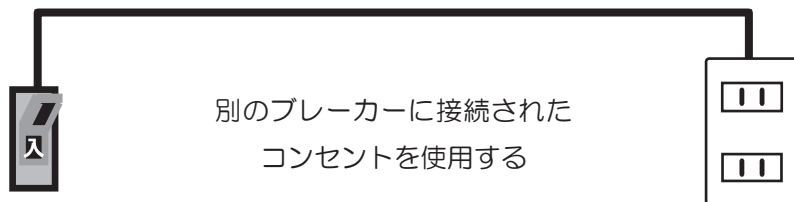
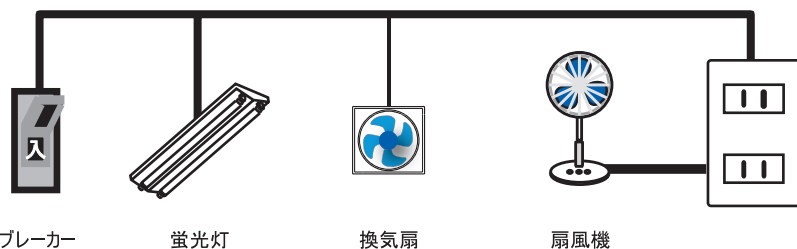
⇒できる限り音楽再生アプリケーション以外を起動せずに音楽を再生してください。  
常駐しているプログラムに不要なものがあれば、無効にしてください。

## ●パソコンを接続するコンセントを変更する。

⇒〈コンセントを変更する具体例〉

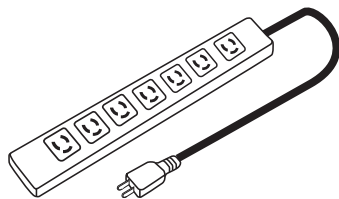
- ①別のブレーカー（別のブレーカーに接続されたコンセント）に変更する
- ②ノイズフィルター付の AC タップを使用する
- ③接続するパソコンの AC ケーブル（AC アダプター）の極性を変更する

①別のブレーカーに接続されたコンセントに変更する



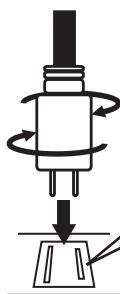
換気扇 / 扇風機を使用する、照明を点灯するとノイズが入る場合、電化製品に内蔵するモーターやインバーター回路から発生するノイズが原因であると考えられます。可能な限りモーターやインバーター回路を内蔵する家電製品が、同一配線に接続されていないコンセントからパソコンの電源を供給してください。

## ②ノイズフィルター付の AC タップを使用する



レイアウトの都合などにより、パソコンの電源を供給するコンセントを容易に変更できない場合は、ノイズフィルターを内蔵する AC タップをパソコンとコンセント間に接続してお試しください。

## ③接続するパソコンの AC ケーブル（AC アダプター）の極性を変更する



通常は AC コンセント挿入口の短い方が活線側、長い方が設置側です。

コンセントは交流であるため、普段極性をあまり気にせず使用しますが、コンセントに接続する極性を変更する（今とは逆に接続 / 極性を揃える）ことで改善する場合があります。

※電気工事ミスなどにより逆となっている場合もありますので、極性を揃える場合は、検電ドライバー等でコンセントのチェックが必要です。

※検電ドライバーはホームセンター等で販売しています。

# 4 全ての項目をチェックしたが、正常に動作しない。

このような場合は、現在接続されているパソコン以外のパソコンに接続して、正常に動作するかをお試しください。

その他のパソコンで正常に動作する場合は、現在接続されているパソコンメーカーのホームページにアクセスし、最新のプログラムが公開されていないかご確認ください。